

ラジオにもタブー

いよいよ明日から新年・2025年です。「新しい戦前になるかも」と言われながら、2024年が「戦中」にならなかったことは有難かったと思います。しかし、「新しい戦前」状態が消えたわけではありません。一方、2024年には、3・11フクシマ事故後に決めていた政府の原発利用漸減方針が、逆に原発を最大限利用することになってしまいました。そして、原発の再稼働が進められ、新しい原発の建設まで計画されています。約30年前、地上デジタルTVが始まる頃に我が家ではテレビ受像機を捨てました。テレビ番組を観て時間を費やすのはもったいないと私が思ったからです。最近、ラジオを聞くようになりました。ラジオはテレビほど監視されていないのか(?)、登場する芸能人や有識者が比較的自由的な発言をしていて面白く聞いていました。年の瀬になり、例年のように、今年を振り返り、来年を展望する番組が放送されました。著名で、必ずしも「御用」の接頭辞が付かない知識人数人が、アナウンサーの司会の下にそれぞれコメントを述べました。残念ながら、日本が抱える最も重要な課題「日本有事(戦争)」「原発」「米国の属国状態」が議論からすっぽり抜けていました。やはり、ラジオにおいてもタブーがあると私は確認しました。(小倉志郎)